

## 浜松市のGX関連補助金制度の採択事業に選定

「太陽光発電による自立的CO<sub>2</sub>固定技術の実証と生成炭酸塩の利活用検討」事業

株式会社アサノ大成基礎エンジニアリング（本社：東京都台東区、代表取締役社長：遠藤一郎、以下 ATK）は、2030年に向けて定めた中期経営計画「ATK VISION 2030」において、「カーボンニュートラル関連事業・施策の推進」をうたい、GX戦略として位置づけています。

ATKはこのほど、グループ会社である三協建設株式会社（本社：静岡県浜松市、代表取締役社長：富田仁）とともに「浜松市カーボンニュートラル技術開発推進事業費補助金」制度の利用を申請、2025年6月13日に同制度の採択事業として選定されました。

選定された「太陽光発電による自立的CO<sub>2</sub>固定技術の実証と生成炭酸塩の利活用検討」事業は、海水中に含まれるマグネシウムイオンおよびカルシウムイオンとCO<sub>2</sub>を反応させ、炭酸塩として固定するATK独自の技術を活用したものです。太陽光発電による再生可能エネルギーを用いることで、外部からのエネルギー供給に依存することなく「自立的なCO<sub>2</sub>固定」が可能となります。

同事業では今後、社会実装に向けて、各種実証実験の実施、生成された炭酸塩の利活用に関する検討を進めます。

浜松市は2020年（令和2年）3月に「ゼロカーボンシティ」を宣言するなど、2050年カーボンニュートラルの実現に向けて官民連携で様々な取り組みを進めています。

以上